

令和5年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

令和5年度職業能力開発論文コンクール厚生労働大臣賞（入選）を受賞された栗秋 亮太氏が、コンクール事務局の質問に回答してくださいました。

受賞者の声：

Q 1. 普段はどのような業務に携わられていらっしゃいますか。

千葉職業能力開発短期大学校 電気エネルギー制御科の職業訓練指導員として、主に電力設備関連の訓練に関わっております。

Q 2. 今回の論文はどの業務に活用して貰いたい（どういった方に読んでいただきたい）ですか。

離職者訓練や在職者訓練等で電気工事の分野に携わっている方に、実習内容の一例として参考にしていただけると幸いです。

Q 3. 今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

本論文は大手インフラ系企業への電気設備の改修工事についての在職者訓練の取り組み内容をまとめたものです。特に、新たに電気工事業に参入する企業がどのような知識や技術を求めているのかをわかりやすくまとめることに注力しました。

Q 4. 今後の応募を検討されている方へのメッセージはございますか。

本論文の内容については、既に同様の訓練を実施されている先生方も多くいらっしゃるかとも思いましたが、在職者訓練で実施している例は少ないのではないかと思います。あまり難しく考えず、普段の訓練で工夫している積み重ねを整理するくらいの気持ちで挑戦していただいても良いのかなと思います。

Q 5. 今回の論文を執筆された心境やきっかけをお聞かせください。

Q3でも触れましたが、本論文は大手インフラ系企業への電気設備の改修工事についての在職者訓練の取り組み内容をまとめたものです。このような、電気工事の実務に特化した訓練を実施することは我々にとってもチャレンジなことでしたが、実施した4年間で受講していただいた全ての関連企業が電気工事業の登録を受けることができました。普段、自身が行っている訓練内容が実戦で使えるレベルのものである自信を得られたことも大きな収穫でありましたので、ここでこれまでの成果を一度まとめる機会として論文の執筆に挑戦いたしました。

ご回答いただきどうもありがとうございました。

令和5年度職業能力開発論文コンクール事務局
基盤整備センター